
短歌ごっこ'10.睦月

逸見

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

短歌ごっこ'10・睦月

【Nコード】

N2645M

【作者名】

逸見

【あらすじ】

日常を詠んでいます

短歌の形式だけど「短歌」と言い切ってしまうのはなんかおこがしい

そんな訳で「短歌ごっこ」です

小さくて
甘いんだけど
それなりに
とんがってるぞ
金平糖

親指で
喋る四角い
枠の中
青い画面に
つぶやき 吐く

見てみたい
ただ知りたくて
それだけで
元気でいますか
笑ってますか

定型に
はまらぬ思いを
定型に
収める楽しさ
三十一文字

「凜とした」

その形容が

腑に落ちた

寒さに煌めく

一月の星

啄木の

一節をふと

思い出し

うなずきながら

リフレインする

穏やかに

読み返すのは

いつだろう

二度と増えない

貴女の手紙

指一つ

押せば消える

儚さと

隣り合わせの

言葉たち

切り取った

思いの一部
文字にする
カメラが捉えた
一瞬のごとく

当然や
当たり前とか
永遠と
儚さ脆さは
諸刃の剣

声高に
伝えるほどの
もので無し
眩きにも似た
voiceの居場所

真夜中に
律儀に点滅
繰り返す
赤い光と
行き交う車

いつだって
右手にあった
手に馴染む

相棒と呼べる
白い携帯

ぬくぬくの
布団にくるまり
ゆるゆると
過ぎす贅沢
休日の朝

繋がりの
えにしの不思議
思いつつ
友からのメール
「キセキ」の着メロ

変わりゆく
モノを見ながら
考える
明けぬ夜は無し
翳らぬ日無し

強がって
笑ってみたり
怒ったり
十人十色の
仮面のチヨイス

無理をして
賢い大人に
なるよりは
素直な大人に
なること望む

その声を
手のひらの中
確保する
YouTubeにて
きみは歌う

人ひとり
否定するほど
偉くもなし
それぞれが生く
その道なれば

不揃いの
言葉で綴る
不揃いの
思いは拙い
歌となる

「ありがとう」
言い尽くせない
キモチをもっと
五文字に変えて
言えばよかった

立ち枯れて
それでも野に立つ
姿見て
力強くも
かなしくもあり

満身の
力でカボチャと
格闘す
切り分けただけで
みなぎる疲労

こんな風に
つながれる事の
嬉しさを
感じながら
眠りに就く夜

振り仰ぎ
枯れ葉越しに

見る空は
寒さに似合う
うすねずみいろ

花はなお
咲き続けてる
目立たずに
人の手などは
借りぬ世界で

耳にした
歌のフレーズ
胸にしみ
繰り返し聞く
飽きもしないで

字がつなぐ
小さな画面
大きな世界
文字の向こうに
人が居るから

雲流る
昨日と違う
雲だけど
昨日のように

流れゆく空

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2645m/>

短歌ごっこ'10.睦月

2011年10月7日13時44分発行